

諸 注 意

1. 試合形式

- A. 男子はベスト16までは1セットマッチ(6ゲームオール12ポイントタイブレーク)、ベスト8・準々決勝は8ゲームマッチ(8ゲームオール12ポイントタイブレーク)、準決勝・3位決定戦・決勝は3セットマッチ(各セット6ゲームオール12ポイントタイブレーク)とする。
女子はベスト8までは1セットマッチ、準々決勝以降は8ゲームマッチとする。
- B. 天候、または試合の進捗状況により上記の試合形式を役員の判断によって変更する場合がある。
- C. 全種目、試合の順番は、シングルス2、ダブルス、シングルス1とする。
- D. 各チームの初戦に限り勝敗がついた後もシングルス1を行う。各チームの2試合目以降は勝敗がついた時点でその後の試合は行わない。
- E. ウォーミングアップはその日の初戦のみ5分厳守、2試合目以降はサービスのみ(各サイド4本ずつ)とする。
- F. 怪我・故障の場合は、1試合につき10分1回または5分2回のインジュアリータイムを認める。
- G. 大会使用球はDUNLOP・FORT(黄)とする。

2. DEF規定

- A. DEFコール時間までに着替えて、本部に出席を届けること。その際5人チームの場合、試合に出る4人が揃っていること。
- B. DEFコール後に、出席を届けたものを棄権とみなす。
- C. いかなる場合も、身代わり出場は禁止する。
- D. 天候その他により、試合の有無不明の場合でも、定刻に会場に集合すること。会場への電話での問い合わせは、絶対にしないこと。なお、雨天でコート使用不可の場合、DEFコールはしない。
- E. 会場には車以外の方法で来場すること。
- F. 遅刻は一切認めないこととする。ただし電車の遅延によるものは、遅延証明書を持参した場合に限り、考慮する。その際、前もって各サークルの新早連委員に連絡をすること。

3. 審判

- A. 敗者チームはコートを離れず、すぐにそのコートである次の試合の審判をすること。
- B. 敗者審判が原則であるが、対戦選手間で合意があった場合に限りセルフジャッジ、交代を認める。
- C. その日のコートの第一試合は、原則としてセルフジャッジとする。
- D. 審判はアップ5分を厳守させ、コートチェンジ間の90秒も守らせる。
- E. 試合終了後、勝者チームは直ちにスコアを本部に届け出ること。
- F. 審判の判定は絶対であり、選手はこれに抗議できない。
- G. 最終ラウンドの選手は、大会役員の指示に従ってコート整備をすること。

4. コートマナー

- A. インプレー中は、コートの後ろを通らないこと。
- B. インプレー中に対戦相手を不快にさせる発言をすることを禁止する。
- C. コート外でのボールを使ったプレー(壁打ち、ボレーボレー、空きコートの使用等)を禁止する。
- D. ごみ、空き缶等はコートに置きっぱなしにせず、所定のごみ袋に入れること。